

新幹線プレス

2019年1月1日

412号

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

謹賀新年

昨一年間は、多くの取り組みに、組合員・家族、そしてOBの皆さんに参加頂きました。改めてお礼申し上げます。

さて、今年は何と言っても、安倍首相の号令の下に改憲に踏み切り日本をアメリカとともに戦争できる国へと飛躍させようとする、改憲のための国民投票にNOを突きつけるために全力で闘わなくてはなりません。さらに、政府による「働き方改革」と称した労働者搾取の攻撃を跳ね返すことです。今こそ労働組合の存在価値が問われているときはありません。

そして、ボーナスカット攻撃を粉砕した成果を組織全体で確認して、昨年一〇月からの一方的な休日出勤指定反対の闘いや、年休裁判、診断書強要都労委に見られるように、JR東海における年休や勤務の扱いが「全くのデタラメ」であることが満天下に明らかになりつつある中、さらに追い詰めるための闘いを強化することです。新幹線車内業務見直しの破綻はもはや明らかであり、相次ぐ効率化Ⅱ要員削減で職場は疲弊して安全が脅かされています。これらは、ほころびが見え始めたリニア中央新幹線計画推進のための経費捻出のために強行されています。このような現実を許さず闘わなければなりません。

今年も多くの闘いに挑まなければなりません。すべての闘いをJR東海労の組織強化・拡大に結実させるために奮闘しようではありませんか！

執行委員長

杉澤 秀則

執行副委員長

小林 正明

〃

土川 節夫

書記長

伊藤 一也

総務部長

小林 昇

企画部長

田村 浩彰

組織部長

安久沢雅行

法対共闘部長

木藤 純宏

業務部長

剣持 善昭

教宣部長

庭山 義輝

特別執行委員

平山 裕一

〃

成田 隆浩

会計監査

木村 孝夫

〃

野口 康夫

明けましておめでとうございます。数の力で民主主義国家とは思えない独裁政治を強行し、戦争への道にひた走る安倍政権にこれまで以上の反戦の闘いを柱とした取り組みに邁進しましょう。診断書強要都労委の審問では松井さん、剣持さん、加藤さんが堂々と会社の矛盾を明らかにしてきました。多くの傍聴で応援する事ができました、ありがとうございます。一方、新幹線を取り巻く労働環境は悪化するばかりです。車両所、運輸所、関連会社にかげられた様々な労働強化に対して、多くの社員の不満が蔓延している現状を打開する為の行動に賛同、参加していきます。行動により多くの意志ある他労組組合員に訴え、共感の輪を広げ組織拡大に邁進しましょう。本年も宜しく願います。

東京車両所分会長 板倉 晋

新年明けましておめでとうございます。東京車両所の都労委、運輸所の年休裁判等、今年も会社との闘いが待っています。三島車両所分会、微力ながら行動に積極的に参加し、共に闘っていききたいと思います。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。本年も宜しく願います。

三島車両所分会長 土屋 浩一

新年明けまして、おめでとうございます。昨年は主に川本裁判、ダイヤ改正にて車掌乗組削減、一方的休日勤務復活と目まぐるしい一年でした。川本さんは不当なボーナスカットを許さないと勇氣と怒りで裁判闘争に決起し、昨年冬のボーナスから、ボーナスカットが止まりました。裁判は今年から証人尋問も始まり、いよいよ佳境を迎えます。引き続き皆様の後方支援をお願いします。平成が幕を閉じます。新たな時代の幕開けです。明るく活気ある職場環境と組織拡大に向けて東一運分会は一丸となって、闘いを創って行きます。今年も宜しく願います。

東京第一運輸所分会長 滝波 武

明けましておめでとうございます。職場では年休が毎年当たり前のように失効しています。東二運分会は年休裁判に、昨年の1月22日新たに原告4名が東京地裁に追加提訴しました。鉄道業務に携わる私たちは安全・安定輸送が使命です。そのためには十分な休養の確保が必要であるにもかかわらず、年休裁判に危機感を持った会社は、年休消化のため休日出勤を強要しています。年休裁判勝利、休日出勤の解消を目指し闘っていきます。

東京第二運輸所分会長 斉藤 厚志

昨年の7月より東京駅営業三科はSMTに業務移管され東京トラベルサポートとなりました。そのため休日が減り労働時間も増えています。そしてSMTには新たに9人の人達が契約社員として採用されていますが、その仲間達は2年間が試用期間とされ、賃金は時間給のみで、車椅子勤務を指定されていても、遺失物が忙しければ波動要員としてそちらに廻されるなど不安定な立場に置かれています。このような仲間達の立場にもたち、労働条件の改善を求めて声をあげ、東海労の旗をしっかりと守っていきます。

東京地区分会長 佐藤 雅巳

新年を迎えました。昨年は年休抑制、ボーナスカット、一方的な休日出勤、診断書提出強要、車掌の乗り組み数削減など熾烈な攻撃の連続でした。この凄まじい攻撃に組合員のみならず一丸となって立ち向かう姿を間近で実感し、みなさんの闘いのなかに地本OB会員も参加し、共に葛西に立ち向かえたことを嬉しく思っています。安倍晋三が防衛費を増額し「憲法改正」Ⅱ「戦争をする国」に向けて躍起です。職場と世の中に眼を向けましょう。そのために、組合員はもとより年金生活者のOBをも含めた、議論・交流の場を創りましょう。様々な攻撃が待つ本年もよろしく願います。

地本OB会々長 尾崎 昭雄